大阪府感染症発生動向調査週報 (速報)

2018 (平成 30) 年 第 16 週 (4 月 16 日~4 月 22 日)

今週のコメント:大阪府では、第14週にインフルエンザ非流行期に入りました

~A群溶血性レンサ球菌咽頭炎~ 手洗い、うがいが重要

定点把握感染症

「A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 増加」

第 16 週の小児科定点疾患、眼科定点疾患の報告数の総計は前週比 15.4%増の 2,381 例であった。報告数の第 1 位は感染性胃腸炎で以下、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、突発性発しん、流行性角結膜炎、RSウイルス感染症の順で、上位 5 疾患の定点あたり報告数はそれぞれ 7.8、2.2、0.6、0.5、0.5 である。

感染性胃腸炎は前週比 16%増の 1,546 例で、南河内 14.4、中河内 10.5、北河内 9.9、大阪市西部 9.3 の順であった。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は 24%増の 428 例で、大阪市南部 3.6、南河内 3.3、泉州・中河内 2.3、堺市 2.2、豊能・北河内 2.0 であった。

流行性角結膜炎は 4%増の 26 例で、堺市 1.4、三島・大阪市西部 1.0 である。

RSウイルス感染症は 15%減の 92 例で、南河内 1.1、大阪市北部 0.9、同西部 0.6 であった。

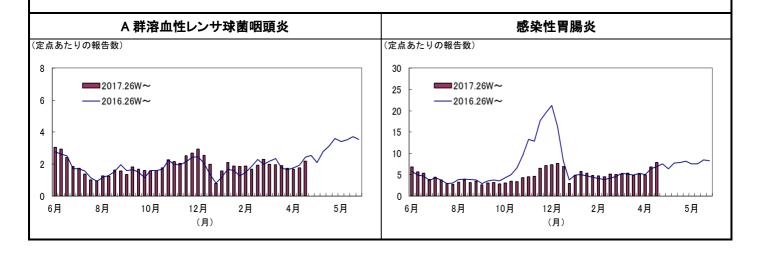


表1. 大阪府小児科・眼科定点把握感染症の動向 (2018 (平成 30)年 第 16 週 4 月 16 日-4 月 22 日)

第16週 の順位	第15週 の順位	感染症	2018 年 第 16 週の 定点あたり 報告数	前週比增減	2017 年 第 16 週の 定点あたり 報告数	2018 年 第 16 週の 年齢別 患者発生数 最大割合値
1	1	感染性胃腸炎	7.8	16%増	6.9	1 歳_16%
2	2	A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2.2	24%増	2.4	4歳_14%
3	4	突発性発しん	0.6	18%増	0.6	1 歳_54%
4	5	流行性角結膜炎	0.5	4%増	0.3	20 歳以上_81%
5	3	RS ウイルス感染症	0.5	15%減	0.5	1歳_41%

第 16 週のコメント

~カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症~ 2014 年 9 月、5 類全数把握感染症となり、感染症発生動向調査では、全国で年間 1,500 例を超える報告があります

全数把握感染症

カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症

カルバペネム耐性腸内細菌科細菌(CRE)感染症は、カルバペネム系抗菌薬および広域 β -ラクタム系抗菌薬に対して耐性を示す大腸菌や肺炎桿菌などの腸内細菌科細菌による感染症の総称である。広域 β -ラクタム系抗菌薬以外に、他の抗菌薬にも耐性であることが多く、カルバペネム耐性遺伝子がプラスミドの伝達により複数の菌種に拡散していくことから、臨床的、疫学的に重要な薬剤耐性菌である。米国では、この 10 年間に CRE の菌種全般の検出数は 4倍に増加しており、国際的にも発生動向が注視されている。

感染症疫学センターはこちらへ(外部リンク)

感染症の話(国立感染症研究所)

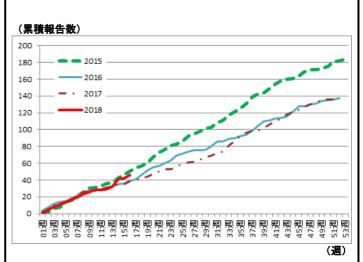


表 2. 大阪府全数報告数 (2018 (平成 30)年 第 16 週 4 月 16 日 - 4 月 22 日)

*)注意:この週報は速報性を重視しておりますので、今後の調査に応じて若干の変更が生じることがあります

3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症 1名 (中河内ブロック 1名、府内累計報告数 2名) パラチフス 1名 (大阪市 1名、府内累計報告数 1名)					
4 類感染症	A型肝炎 1名 (大阪市 1名、府内累計報告数 7名)					
	アメーバ赤痢 2名 (豊能ブロック 1名、大阪市 1名、府内累積報告数 25名)					
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 4名					
	(堺市 2名、大阪市 2名、府内累積報告数 46名)					
	急性脳炎 1名 (堺市 1名、府内累積報告数 12名)					
5類感染症	劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1名					
(麻しん、風しんは	(豊能ブロック 1名、府内累積報告数 13名)					
除く)	侵襲性肺炎球菌感染症 3名					
	(豊能ブロック 1名、堺市 1名、泉州ブロック 1名、府内累積報告数 101名)					
	水痘(入院例) 1名 (大阪市 1名、府内累積報告数 7名)					
	梅毒 10名 (大阪市 10名、府内累積報告数 331名)					
	百日咳 4名 (泉州ブロック 1名、大阪市 3名、府内累積報告数 77名)					
結核	 結核 新登録患者数:139 名 (内 肺・喀痰塗抹陽性 54 名)					
(2018年1月分)	(府内累積報告数 139 名、内 肺・喀痰塗抹陽性 54 名)					
1						